

九州大学大学院言語文化研究院主催 認知語用論講演会・研究会

日時：令和4年12月10日（土）午後1時30分～6時

開催方法：ハイブリッド開催（会場・ZOOM）

会場：九州大学伊都キャンパス・イースト1号館・会議室 A-239



[講演] 1:30 p.m.～3:30 p.m.

武内道子（神奈川大学名誉教授）

「概念的意味と手続き的意味の区別
ー その始まりから最先端まで」

過去30余年にわたる「概念的ー手続き的意味の区別」に基づいた関連性理論の意味論を検証します。両者の意味の区別は、語彙語用論研究の高まりを見ても、再評価する時期に来ています。手続き的意味の進化の方向性は認知的観点から好ましく、今後は手続き的意味タイプの区別の考察が望まれます。

コメンテーター 西山佑司（慶應義塾大学名誉教授）

[発表1] 3:45 p.m.～4:40 p.m.

野村明衣（九州大学）

「周辺部におけるスペイン語の注意喚起表現」

コメンテーター 山村ひろみ（九州大学）

質疑応答

[発表2] 4:55 p.m.～5:50 p.m.

後藤リサ（関西外国語大学）

「関連性理論と発話のアイロニー
ー アイロニー認知へのアクセシビリティの観点から」

コメンテーター 大津隆広（九州大学）

質疑応答

・ ZOOMでご参加の方は、12月9日（金）正午までに下記までご連絡ください。
お問合せ 九州大学言語文化研究院 大津隆広（otsu@flc.kyushu-u.ac.jp）